

1. 件名：浜岡原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年11月22日(火)16時30分～16時55分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究
調査官、馬場係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 調査計画グループ
グループ長 他9名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。それではただいまから、中部電力浜岡原子力発電所、方の審査に関係します。面談を開始します。
0:00:12	中根今週の審査会をいうことで資料の方が中部さんの方からのプレート間で三つと、津波堆積物の3点、それぞれ補足も含めてですけど、
0:00:24	いただいておりますけれども、ちょっとプレート間の方は今回25日の会合にはかけずに、これは別途日を改めてということで、
0:00:35	今回25日の審査会合は津波堆積物のコメント回答ですね。なので、資料いただいている資料で言いますと、
0:00:45	基本的にいただいと資料1-41-51-6、これを1-11-21-3として、審査会合の方で審議をすると。
0:00:55	こういう予定でございます。
0:00:58	ちょっとプレート間の方は、具体的にもっと我々も審査会合の資料を用いてですね、今回、主にそのコメントとしては、詳細パラスタですね、詳細パラスタ前回ブラックボックスになったところを明らかにしたというところと、
0:01:16	水位低下、筒井加古がですね、水位下降側のケースについて、詳細パラスタの段階で
0:01:24	より大きいものが選んでいるのかということで、先ほどの1点目の派生ですけども、その確認と、あとは検討波源モデルC。
0:01:34	これの妥当性という3点ではあったんですけども、
0:01:39	ちょっと資料ですね特にコメント回答資料の中で、いわゆる今回そのパートとしては詳細パラスタのごく一部分の妥当性ですけども、
0:01:51	一気に通貫で、パラスタ全体でですねどういうやり方で、どういうパラメータを振って、最後敷地に最も影響があるケースを選んだかっていうところで、
0:02:04	これちょっと資料上、コメント回答だったり或いは本編だったり補足説明資料だったりちょっと飛び飛びにならないと。
0:02:12	新しい解析が要るってイメージじゃないんですけどちょっと飛び飛びで、行ったり来たりしないとですね、なかなか説明がつかないということで、ちょっとそこら辺をコメント回答資料の方ですね、これをきちんと
0:02:27	確かにコメント御社としては、コメント回答なんで、コメントされた部分の説明、それで今コンパクトにまとめたという趣旨かと思うんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	そこが全体が見えないので、あと特に、
0:02:42	コメント回答のうち、
0:02:46	割とパラスターの部分での数 g を並べてどういう選定の仕方であっていうところなので、相当そこら辺も見にくいなということで、ちょっとここは資料の方もちょっと練り込んでから、
0:03:01	会合にかけたいかなっていう実質最後きちんと議論をして進めていきたい部分なので、
0:03:07	ちょっとそこがつまらないところで、1回スキップしちゃうなんていうことで、今回25日には書けないということで判断をしました。
0:03:18	とりあえずちょっとこちらから言うですね、そちらとしても何か趣旨とか質問あるかと思しますので、
0:03:26	中部電力浜野でございます。ご趣旨は理解いたしました。
0:03:33	もともとコメント回答資料の部分についてはコメントに端的に答えているという形で、そちらを中心に説明しまして、全体の
0:03:47	プレート間地震の津波評価については本体資料の方で、一気通貫で説明しているという、
0:03:55	形で作成はしてきたと考えております当然、細かい確認計算なんかを補足資料に飛ばしてはいるものの、全体としては本体で書いてると思うんですが、今の
0:04:09	ご趣旨はコメント回答の中で今回例えば下降側のパラスタの考え方であったり、選定方法なんかを
0:04:19	練り込んだのでこれを、
0:04:21	含めてパッケージで、上昇側と含めてうちの詳細パラメータスタディってのはこういうもんですというところを、
0:04:30	コメント回答の中に改めて整理して、全体俯瞰できるようにして、それをパッケージを、また本体資料の中で、全体として読めるようにすべきであっていう。
0:04:41	ご趣旨と理解してよろしいでしょうか。
0:04:46	はい。本体資料はプレート間の評価全体ですよね。それでも数百ページぐらいありますけど、今回で言うと、検討波源モデルCの妥当性、これは検討波源モデル。
0:04:59	のをどういうふうにし、痕跡再現からどういうふうに変更して検討は併モデルはこれでいいんですって説明これは椎野説明ですね。で、詳細パラスタの方は、なので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:11	選ばれた検討波源モデルから、概略パラスタをどうやって、詳細パラスタをどういう順番でどういうパラメータを振ってどうやって、結論なりましてここはパラスタ概略パラスタから詳細パラスタ結果までの範囲なので、
0:05:26	そこを全部本体から抜き出すとそれはそれで分厚いんですけど、ただ、いきなりやっぱり詳細パラスタのやり方の説明から入ると。
0:05:37	そういえば、概略パラスタでどうやってこの基準断層モデルが選ばれたんだっけというところですね、当然、新御社今そこにされてる方と、この実際の短我々の担当だけは、
0:05:51	これまでヒアリングで、それぞれ何回も聞いて、もちろん確認してるんですけども、これを、ある程度知識がある人間が初めて、初めてという部分を、語弊がありますけども、
0:06:03	程度見て、理論構成確かにこれで津波の評価、パラスターとして妥当なやり方だったねっていうのを客観的に見たときに、そのなかなかそういう資料にはなってないよねと。
0:06:15	パーツパーツで抜き出してしまっているんで、ちょっと全体の流れがどうあって、その中で、今回のその詳細パラスタのやり方で、変えたのかとかですね。
0:06:26	ちょっとそこが確か本体資料に、
0:06:30	コメント回答だと短い紙本体資料だと永石っていう、ちょっとすみません、ざっくり言うとそういうことなんですけど。
0:06:38	あとどれをあの骨格り組み込んでいくかっていうところは、
0:06:42	ちょっと1個1個すみませんこの場で申し上げるつもりはないですけども。
0:06:51	中国の竹原でございます。若干個人的には混乱してるところがありまして、
0:06:58	もともと降雨を担当される方に、が変わればイメージがあるのかもしれないですけど、
0:07:05	もともとどちらかというとコメント回答の中すべてが読めるような形で、このようなところをもともと作ってたところはあるんですけど、それに対して、
0:07:15	そこで1回、コメント読んでもじゃあ、
0:07:19	全体の本体資料とそういうところに行ったときに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:22	どこがどう変わるのか、わかりにくいよねっていう話をコメントいただきました、
0:07:27	そういう今の形で、コメントに関わる部分だけをコメント回答で、本体資料なり、補足説明資料が全体の中でそのコメントを受けて反映すべきものは反映しましたよっていう形。
0:07:41	にした方がいいというような議論の中で今の形にしています。
0:07:45	今後そういう形にするんだよっていう話であればまた、それはそれでやむを得ないところあるんですけど、結構行ったり来たりしてるものですから、もう少し、
0:07:55	具体的にこの程度はっていうことをご助言いただければなと思うと、やはりそういうイメージがあるのであれば、結構スケジュールも厳しいもんですから、早め早めのヒアリングでこう、
0:08:08	ある意味もともとの、こういうふうになろうというところが変わってきてるところもあるもんですから、
0:08:13	早めにご指示いただければ、我々の方も助かるとは思ってるんですけど、その辺りはいかがでしょうか。
0:08:21	はい。ちょっと私担当レベルとしては今の資料で会合で議論できるかと思ってかけてたので、なので前回のヒアリングの際に、ちょっとこの資料ではというような指摘はしていませんちょっと暫定で、
0:08:35	違う資料でいうと前回でいうと、数週間前ですかね。
0:08:39	なので、本当その点はちょっともう前回ヒアリングの際に、ちょっとこれではと言われる私としては、少なくともこの資料で議論可能ということで判断した上で、
0:08:51	今流れてますので、そこら辺ちょっと私も至らない部分があったかなっていうのはそこは自覚してございます、
0:08:58	なので、ちょっと今日この場です、ではどういう論理構成でこういう資料を求めるってところまで、提出は詰めませんが、
0:09:08	多分おっしゃらタケヤマおっしゃりたい趣旨としてはいやじゃあこれで裸で今のこの段階で1週間後2週間後に資料をどんと持ってくれるかっていうと、
0:09:18	それはそちらとしては、ちょっとどういう作り込みで議論をする資料として認めるのか。
0:09:25	ていうところがはっきりしないと、資料も作りようがありませんよねっていう、そういうんかの原因かと思しますので、ちょっとそこはまた、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:34	直近だと今ヒアリングはないんですけど、あとまた面談なのか今の資料でヒアリング、介護にかけようとしていた資料で一旦ヒアリングするのか、
0:09:44	それはこちらも担当或いはそちらの担当と、きちんとある時間でそこはきちんと時間をとって、会合にどういう資料でかけようかっていうのは、
0:09:53	やるべきかなと思ってまして、ちょっと今日は少なくとも、25日には会合をかけますかけれませんか、そういうところをお互いで確認するというその面談でございます。
0:10:05	高間さんも保険の出資は合ってますちょっとあの家等どこをどういうふうに直していけば、議論が足りるところなのかははっきりしないと。
0:10:16	なかなかそれをつくれてと言われてもつくれませんよと、それはおっしゃる通りかありますので、やはり、この部分は、
0:10:22	どれがわかりやすく誰がわかりにくいってのはある意味、人の好みの部分もあろうかと思えますので、土肥永野、それにできるだけ合った形で、見やすさで今の方々が見やすいついていうところで作るのが審査の効率化に繋がりますので、
0:10:37	それはそれでどんどん変えていけばいいとは思うんですけど、今、そういう形でまたヒアリングなり面談していただけるってことはありがたいことではあるんですけど、
0:10:49	日程的にちょっと我々、当社の都合にはなってしまうんですけど、11月1日にスケジュールを出させていただいた中で、
0:10:59	できるだけ作業の中でオンスケでできるだけやっていきたいというところもございまして、またヒアリングは後しろと下がってきますと、ほとんど工程下がっていくものですから、
0:11:11	できれば本当に今日のこの場でっていうのが一番よかったんですけど、できなければ本当に早いタイミングで、また来週再来週だつていうところを聞いてから資料作るとあつという間に
0:11:23	ヒアリングはい直してヒアリングの1ヶ月行ってしまうとですね。
0:11:27	もう本当に取り行ってしまうものですから、
0:11:30	ちょっと至急本当に今週中か、明日でも明日なんか、24日でも25日の審査会合の後でも構いませんので、
0:11:41	時間を取っていただければと思います。
0:11:45	規制庁の名倉です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:48	今回の資料、一言で言うと、
0:11:55	今まで審査をしてきた。
0:11:57	担当者、こちらの担当者と、中部電力、
0:12:02	それは理解中身を理解しているとは思っただけど、
0:12:07	この資料では、
0:12:09	会合にかけても、その場で理解できないと。
0:12:14	だから、今回はプレート間地震のこれまでパラメータスタディでいろいろコメントをしてきたんだけど、
0:12:22	パラメータスタディの全体像でどういうふうな流れになっているのか、その中で、
0:12:29	どういうふうにケースが選定されてきているのか。
0:12:33	その中で、どういうところがブラックボックス化していて、そのコメントを今回どういうふうに解消したのか。
0:12:41	そういったところが、全くわからないと言われてしまいました。正直言うと、
0:12:49	たくさんごちゃごちゃ書いてあるんだけど、実際どういう考え方なのかも全くわからないと。
0:12:54	というふうなこともと言われてしまいましたので、
0:12:58	そういう意味で担当者がわかってるだけでは駄目で、ちゃんと流れとして、パラメータスタディが今回、
0:13:08	結局支配的なケースとして、
0:13:11	数値が大きく変わった原因になっているのでその説明性も含めて、
0:13:17	しっかりと資料を、まず、
0:13:20	確認できるようにしてくれないと。
0:13:24	今回のプレート間地震のコメント回答がもし終わるのであれば、それが集大成となるので、それをベースにした取りまとめ資料として、
0:13:37	積み重なって横に置いてあるんだけどそもそも、それに対する説明そのものも、わからないと。
0:13:47	それではちょっと取りまとめるにあたって、できないというふうにちょっと言われたのが今回の趣旨です。
0:13:54	従って、どうすればいいかっていうのは、
0:13:57	もう少し全体をよく見えるようにして、した方がいいということかと思えます。
0:14:06	今申し上げられる部分についてはこういったことでした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:11	こちら辺はちょっと、
0:14:12	実際、もう少しどういうふうにすべきかっていうところを、お互いに考えないといけないところはあると思うんですが、
0:14:23	そういう意味これまでいろいろ分量が多くてわかりにくいと言われてきたところ、
0:14:29	今回はある程度削ったんだけど、削ったにしても、ごちゃごちゃごちゃごちゃいろいろ書いてあってやっぱりわからんと。
0:14:38	そういう意味で、全体の論理と今回のコメント回答の部分とその論理。
0:14:44	それをしっかりわかるようにしてくれというのが今回言われたことです。
0:14:53	ちょっとこれについてはお互い間がて、修正をしていきたいというふうに考えております。以上です。
0:15:01	中部電力天野でございます。ご趣旨は終わっよくわかったんですけど、
0:15:09	コメント回答の中で、今回のコメント回答が、
0:15:14	どういう位置付けかっていうことを作るのは、何となくイメージできるんですけどそれも含めてやっぱり、
0:15:23	最後集大成という本体資料の方に入ってくると思うんですけど、やっぱり同じように、そこを織り込むっていうようなイメージなんじゃないかな。ちょっとそこが、規制庁の名倉です。まず言われたのは、
0:15:40	今回は、検討波源モデルAというところの基準断層モデル市来の1から1-5までで敷地前面が、
0:15:51	クローズアップされて、検討波源モデルDで、基準断層モデル3-1から3-3で、ここは最大上昇水位としては1から5号機の取水槽、
0:16:05	ここでこのモデルで見ればいいんだとか、そういったところが、言葉でちょろっと書いてあるんだけどこの流れが、いきなり出てきていて、
0:16:16	実際ここにどうやって行き着いたのかもわからないと。
0:16:22	だからこれは私たちはもうわかり切ったものとしてやってたんだけど、そもそもコメントは、
0:16:28	敷地前面のところではなくて、1号から5号の取水槽のところ、検討モデルの波源モデルDのところ、
0:16:38	この数値の絞り込みがわからないのでこのブラックボックス化してるということでコメント回答を説明しようとしたところ、そもそも何でこうなってんだと。
0:16:50	こちら辺が流れが全然わからないと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:53	だから、情報共有しながらこれを説明してこれでいいですと、判断をするのであれば、そういった流れ全体の中で今回のコメントも踏まえ含めて、
0:17:06	説明すべきだというふうになんて今言われました。
0:17:14	はい。そういう意味で、内部的にこれクリアしないと、説明プロセスは入れないので、会合に移らないということなので、ここはやらざるをえないのかなと思いました。
0:17:31	すいません文句言いたいのはわかるけどこっちも文句言いたいんだけど、今から何言ってんだと思うんだけどこういうところ今野まで行っていいのかとあるんだけど、
0:17:41	わからないと言われたことに対してこれについては、ちゃんとアプローチしないと、多分、あらゆる人が聞いているわけであってコメント回答。
0:17:51	なるべく、その聞いている人にわかるようにしないといけないんじゃないかなという気はちょっとしてます。
0:17:57	ちなみにマスコミ等のぶら下がりでも、電話連絡とかデモ機電話取材とかでも聞きますけど、
0:18:04	一体どういうふうになんて、資料が多過ぎて、どういうふうなパラメータをどういうふうになんて検討して、最終的に今どうなってるのかっていうところが、
0:18:14	非常にわからないんですけど電話で教えてもらえますかって。
0:18:18	そういう取材も結構あるので、
0:18:22	そういう意味で、今日言われたことっていうのは確かに、今後説明する上で、今の今の例えば資料1-2でも、
0:18:33	そこんところが軽視的に書いてあるだけでなんでこうなってるのかっていうのは、
0:18:39	特に流れが省略されてますよね5ページ、6ページとか、どういうモデルが絞り込まれたかって結果和解結果とか、
0:18:49	流れが書いてあるんだけど、
0:18:51	プロセスの説明にはなってないですよ。
0:18:55	おそらくそういうところがわからないので、実際どういう検討をしてどういうケースが支配的になってどういうパラメータが、
0:19:05	何ていうかな振っていく中で、クローズアップされていってこうなってるのかっていうところが、
0:19:13	わからないって時々言われるんだマスコミとかにも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:17	こういうところはちょっと説明を強化しないと。
0:19:21	今後の説明も、
0:19:24	なかなか難しいんじゃないかなというふうにちょっと思います。浜岡は逆に、いろんなケースをコメントを受けてやってるがゆえに、
0:19:34	中身がすごくボリュームが多くなってるんだけどこれに対してどう説明するのかっていうのは、もう少しちょっと考えないと。
0:19:43	種モデルCの妥当性も含めてそうですけど。
0:19:47	このところはちょっと、
0:19:49	説明性を上げる必要があるのかなというふうに考えてます。以上です。
0:19:58	あ、中部電力の盛です。ありがとうございます。今村さんおっしゃられたのは、具体的にはコメント回答でいうと、62ページのケースの選定方針、
0:20:09	例えば着目する地点なんかで影響が大きいのはこれだというのが書いてあることの、
0:20:16	そもそもここはどういうふうに使われたのかということだとか、このページはちょっとかなり文字数が多くなっているので、一目でわからないだとか、
0:20:25	そういうところを、から、
0:20:29	ここを見てのをし、まずはここを見てのご指摘だということによかったでしょうか。
0:20:34	そっからの細部のあんまりやりとりはしたくなかったんですけど、61ページとかで、下に敷地への影響が最も大きいケースの選定ってなってますよね。
0:20:45	これが、
0:20:46	結局、この次のページの62ページの、
0:20:51	選定において着目する評価点とかそういったところ、
0:20:55	方の評価知見に関しての、
0:20:59	選定になってるんですけど、7.5との選定になってるんですけどここの辺が、結果だけ書いてあると。
0:21:09	というふうには見られているんだと思います。このところは、
0:21:18	すいません細かいこと言って申し訳ないです。ご指摘の具体的なところ九つ点については理解いたしました。ありがとうございます。あと例えば62ページの右側のところで代表ケースの選定イメージで、
0:21:30	①②と①'②'の関係で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:33	ケース1 ケース2 ってなってるのがいきなりケース1 から決算になっていて、このところはあくまでも、植野谷津のケース、例えば①の一井が、
0:21:45	二つ、笠名ってあった場合っていうことを書いてるんだけど、このところも、何て言うのかな、私が説明したら、そういうふうに読むっていうのは、
0:21:57	初めてわかったというふうに言われたし、これを見比べてもう何言ってるかわからんというふうにちょっと言われたので、読んでるだけでは、
0:22:06	そういうふうなところをちょっと
0:22:09	誤解を受けやすいところは直すということかなというふうにちょっと思いました。以上です。
0:22:19	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。ちょっと名前が同じというところも誤解招く原因かと思imasuのでそういうところも含めて再点検させていただきます。
0:22:44	中部電力の仲川でございます。はい。
0:22:47	今のご指摘等をですね、踏まえてですね、私どもとしても再度資料を点検してですね、全体の流れの中で、今回のコメント等がどういう形で出てきたのかとかですね、そういったものはしっかり見えるか。
0:23:03	していきたいと思imasuし、そういう意味でいろいろまた面談等ですね、ご指摘等もいただければと思imasu。ただ、私どもですねできるだけ早く対応させていただきたいと思っておりますので、そちらの方ご協力の方、お願いいたします。
0:23:21	はい。こちらとしてもいたずらに延ばしたくはないというのは全部お互い一緒だと思imasuので、
0:23:26	ちょっと次ドライグで面談ないしヒアリングを入れるか、あと資料としては現状の資料で、ヒアリングでその場で、じゃあ具体的にどういうところがわかりにくかったのかっていうのをきっちりとお伝えするっていうことかと思imasuので、
0:23:42	ちょっとまずそこの設定かなと思imasuので、今の詳細パラスタのところだとそう見ると、多分コメント回答の一番最後のところに実は津波評価のまとめがあって、
0:23:53	ここに全体の流れが書いてあるんですね。ただ先にページとしてこちを説明してから、前のページに戻ってるっていうと、何でそんな構成になってるんだっていう話にはなるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:05	ちょっとその詳細パラスタのコメント回答に入るまでに、全体の流れの中でどういうところでつまずいて、コメント回答になったのか、そこがわかるようにしておくともまずその件に関してだけ言えばですけどね。
0:24:19	いきなり詳細パラスタのところから入るんで、あれ何でここにつまずきつまずいたんだっけっていうところで止まって、さらにこの文字のオオイ 62 ページで、当然私は何回か聞いているんで、この右の見方もフローの見方も当然理解しますけど、
0:24:34	ちょっとそれが初めて聞く人間にスッと流れが入ってこなかったというところで、わからんと言われてしまった次第なので、はい。ちょっといつ設定するかっていうところはまたどっちの調整はしますけれども、
0:24:49	はい。
0:24:50	あと長い時間を無駄にかけたくないっていうのをすいませんこちらとしても同じなので、はい。どうぞよろしく願いいたします。
0:24:58	中部電力浜野でございます。よろしく願いいたします。
0:25:06	はい。で、他、特になければ審査会合としてはすいません 25 日は津波堆積物ということで世良の面談の方は終了したいと思います。何かございますでしょうか。
0:25:21	中部電力天野です。特にございません。
0:25:26	はい。それでは審査審査会合に向けての面談ということで終了したいと思いますどうもお疲れ様でした。
0:25:34	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。